

熱工学ワークショップ開催（中止）報告

第 96 期熱工学部門講習会委員会
委員長 保浦知也（名古屋工業大学）
幹事 佐野吉彦（静岡大学）

「熱工学ワークショップ」(No. 19-353) は、熱工学コンファレンス 2019 (名古屋) の初日にあたる 2019 年 10 月 12 日 (土) 12:00 ~ 14:00 に開催を予定していましたが、台風第 19 号の接近による熱工学コンファレンスの中止に伴い、残念ながら本ワークショップも中止といたしました。以下では、当日に予定していた内容について簡略に報告させていただきます。

本ワークショップは、熱工学コンファレンスと並行して、初日のお昼休みの時間帯を利用して、昼食を取りながらのランチョンセミナー形式で企画しました。この実施形態は、2016 年の熱工学コンファレンス (愛媛) より継続しており、2018 年の熱工学コンファレンス (富山) に続いて第 3 回目となる予定でした (2017 年は第 9 回日韓熱流体工学会議開催のため実施されていません)。これまでと同様に、募集人数は 100 名としましたが、事前予約が 99 名 (そのうち、お弁当の予約は 55 名) となりほぼ定員が埋まりました。なお、当日申込による参加者増に対応できるよう、会場は広さに余裕のある階段教室を準備しました。

開催の趣旨は、産業界を中心とした講師をお招きし、熱工学に係る技術上の諸課題や熱工学分野への期待を「熱マネジメント」をキーワードに提示頂き、関係者の今後の研究・開発活動の深化・拡大の萌芽となることを目指すもので前回と同様です。今回はワークショップの開催地である中部地区における伝熱研究をテーマに、産業界において求められている現在の技術トレンドや将来に向けた展望や期待について、下記の 3 名の講師からご講演いただく予定でした。

近藤 良夫 氏 (日本ガイシ (株))
「選択波長赤外線を用いた新規プロセス創出の可能性」
佐藤 英明 氏 ((株) デンソー)
「自動車の電動化時代に向けた熱マネジメント」
渡邊 激雄 氏 (中部電力 (株))
「ヒートポンプの新たな適用分野と次世代のヒートポンプ」

当日のプログラムは、最初に 3 名の講師から順番に 30 分程度で話題のご提供を頂き、最後に 20 分弱のパネルディスカッションで総合討論を行う形で構成して行っていました。これまでと同様に、講師各位には配布資料のご用意は一切お願ひせず、最新の情報に基づいた当日その場での講演のみをお願いさせていただきました。上記のご講演題目から、今後の熱工学に関する大変興味深い題材が取り挙げられており、ワークショップが参加者にとって有意義な場となる予定であったと思われま

最後に、熱工学ワークショップの開催準備にあたり、ご講演を快くご承諾いただきました講師の皆さまに深謝いたします。また、熱工学ワークショップに参加予定の皆様には、開催中止についてご理解を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。